京城新報

●新聞料 ▲一部二錢▲一ヶ月前金四十五錢●三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月金拾壹錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 三月 九日
發行編輯兼印刷人 山下英爾
發行所 京城西署西小門通 京城新報社 電話六六三番

韓國に働きたる人物 其八　放浪子

小村壽太郎(上)

▲人間は責任を負はして遣らせれば思つたより遣るものである、小村の如きはそれで名を揚げだしたのである

▲日清戰役の當時、小村は北京で公使館書記官であつた、外務省在勤中より此時に至る迄、世間は小村なるものゝ存在すら認めなかつた、唯交友間に於て、渠が高利貸に窘められ、辨當屋の勘定を拂はぬ爲に兵糧停止となり、貸布團屋より窮迫せらる等のことが、常に話題に上つたのみである、處が日清戰役で目切り運が開けて今日に至つたのである

▲北京公使館引揚時代、渠は公使代理として、敏捷快活に事を運んだ、之が抑も運の開き始りである、そこで彼奴は中々やるわいと評判され、戰後滿州に民政長官を置くときに拔擢されて其任に就たのである、民政長官となるや、軍人側の壓迫に反抗して毅然たる態度を示した、渠が利かぬ氣の性格は玆に發輝された、躯幹は矮小だが氣骨の稜々たる處があると世間は讃めだした、小村壽太郎と云ふ名は此時頃から漸く世の注目を惹くようになつたのである、

▲渠が民政長官をやめて本省に歸て間もなく、韓國に於ける王妃事件が起つた、三浦梧樓等以下廣島に送らるゝや、渠は此跡仕末として全權公使となつて京城にやつてきた、赴任後幾干もなく二月十一日事變國王露館潜幸事件に遭遇した、渠はマンマと露公使ウエルベルに出拔かれ、二十日鼠の稱ある機敏の小村も美事失敗したのである、韓國に於ては渠も亦味噌を付た壹人である

▲此時分の小村はまだ〳〵だめであつた、其本國政府に氣兼し、列國に氣兼すること云ふたら可笑しい程であつた、或る時地方より暴徒の爲に逃げ歸つた一人が、損害賠償を小村に逼つた、其時渠は曰く、卿等も困るだらうが、韓政府に對する外交上本國政府の命令もある故、それは今といふわけにはならぬ、請願者曰く其命令は閣下への命令である吾々の關する所にあらず、吾々は着のみ着のまゝにて逃げ來りしもの哀れ御憫察を乞ふと、渠默して暫く答へず稍あつて亦本國政府の命令を繰返すのみ、請願者は兼て聞きし小村の氣質に不似合なるに激して、閣下は外交の失敗より起りし暴徒の爲に同胞の餓死せんとするを顧ざるか、本國政府に斯く怖るゝかと言ひ放ちて去れりと聞く、これで當時の小村の面影が察せられるでないか(未完)

●東洋拓殖の方針

東洋拓殖會社創立準備は未だ進捗を告ぐるに至らず伊藤統監本月十四五日頃京城到着と共に韓人側の創立委員選任せらるゝ筈にて同時に日本に於ても實業家貴衆兩院議員學者官吏中より創立委員の任命を見るべし人員は日韓人を合せて六七十名の多數に上り定款作製株式募集創立總會を經て總裁以下役員の任命並に登記を終るは少くも今後三箇月の時日を要すべし株式募集は五月金融緩漫の頃を見計ひ開始すべきが既に今日より內密に大口の豫約者ありと社債に政府の保證を與ふるは低利の外資を吸收する爲にて井上侯、添田總裁等外資斡旋の內約ありと傳へらる經營方針には巴爾幹半島ボスニア拓殖の成功者たる墺國のフオン、カーライ氏の經營方針は多大の參考資料を給す可し本年は土地測量其他の諸準備に費し第一回の殖民は明年開始せらるべく人員は三千名(一千家族)位の程度にて徐々擴大を圖るべし本邦移民には希望に基き韓國に於ける定住地を選擇せしめ會社は一家族に對し水田二町歩畑一町歩住宅耕牛種苗肥料移民食料の器物供給等移民一人に付三百六十圓の標準にて年賦の償還の方法に依り長期の貸附を爲すべし大藏省は償還期限を二十二箇年と唱へ會社側は十五年說なるも要するに渡韓移民は年々五十圓內外を拂ひて三十年後中產地主たるの途を開かんとするなり會社の創立は日清日露の二戰役に軍人軍屬として足跡を韓半島に印せる農民に著るしき反應を當へしものゝ如く既に渡韓移民の申込を爲せるもの少からず拓殖會社直接の事業は水害地豫防工事旱魃田土灌漑工事模範農園創設を初め韓國棉花栽培協會其の他の民間事業の補助漁具漁船の改良孵化場開設造林等にして燃料用として石炭採堀位は着手せらる可し土地は韓人より買收せらる可く外に無期限借用に歸すべき莫大の土地ある筈なるも今明記する自由を有せず會社は資金の三分の一を割いて金融資金に供すべしと云へば在韓農業者は金融上の利便を感ずべく聊か恐慌の態あるは韓人を相手に土地を擔保として誅求に餘念なき高利貸連のみならんか

●清津港の將來

四月一日より開港さるゝ韓國清津港は露領浦鹽斯德を去ること僅々六十里未滿なるも潮流の關係にて浦鹽斯德に異なり四季共に不凍港にして西方は稍々塞がるのみなるも東北は山を負ひ南方は全く開放せるが該方面は西南の風吹くこと稀なるを以て何等危險の虞なし海底深くして灣內廣く日露戰役當時優に三十餘艘の御用船を碇泊して尙は餘りありしに見ても如何に其の天然の良港たるかを知るに足るべく之に多少の人工を加へば世界有數の良港となると疑なし地勢恰かも吳港の如く山に接する海灣なれど半里未滿にして三里四方の平原あり附近一帶の地は人口稀少にして土地豐饒ならざるを以て韓國に於ける貿易に對しては特筆すべき價値を有せざるが如きも滿洲の吉林へは距離百里內外に過ぎず若し清津、會寧間の鐵道(目今は輕便鐵道なり)を延長し間島を經由して吉林に至り南滿鐵道と連絡せば大連港より南滿鐵道に頼る半數の日子にて能く吉林奉天に達することを得べし加ふるに日本內地と清津港との間は內地と大連港との間よりも著しく近距離なるのみならず吉林を中心とせる北滿一帶の地は南滿に比し土地豐饒物產夥多にして人口は南滿に比し[illegible]るにあらざるも[illegible]入品共滿洲貿易の[illegible]港が大連港を凌駕[illegible]なりと云ふを得[illegible]るに反し清津港[illegible]伯利亞に對する貿[illegible]拮抗することを得[illegible]將來最も有望なる貿易港なりと某歸來者は語れり

●明治四十年仁川港貿易の概況(三)

第四節　輸出重要品の概況

品名	四十年	三十九年	增減(△)
豆類	八三二,九六〇	八八六,八一五	△五三,八五五
海參	一三,八七〇	一四,六〇五	△七三五
牛骨	九,二九五	一一,四三三	△二,一三八
紅白人蔘	一,二〇〇,五五五	一〇,一二三	一,一九〇,四三二
穀類	二五,七七七	二七,一九〇	△一,四一三
牛皮	四五,五五六	四一,一七五	四,三八一
畜類	三三,〇四五	一四,二一八	一八,八二七
紙	五四,〇三三	八一,三四一	△二七,三〇八
米	一,八二〇,五八二	四五一,九四九	一,三六八,六三三
米糠	二四,四一七	一五,六二二	八,七九五
毛皮	二二,六三六	一三,七三五	八,九〇一
獸脂	二四,四九五	二三,三三五	一,一六〇
小麥	五九,一二一	六四,五七六	△五,四五五

前表輸出重要品につき其增減の著しき物を擧ぐれば豆類、紅白人參、畜類、紙及米是なり而して是等五品につき各其增減の理由を考ふるに

豆類(減)昨年及本年度の豆作は米作の良好なりしに反し一昨年に比して不良なりしため多く國內の需用に充てられ廣く海外の需用に應ずること能はざりし爲めなり

紅白人蔘(增)近年蔘は悉く開城に於て貯藏せられ纏まりたる輸出を見ざりしが本年十月中一時に百餘萬圓の紅蔘支那へ向け輸出せられたるを以て此の不順を生せし者なり

畜類(增)本邦中國地方に於て近來畜產の大に興り韓國より幼牛多く是等の地方に向けて輸出されしにより本年度の輸出は昨年度に比して約七倍の增加を來たせるものなり

紙(減)近來韓國に於て日本紙の需用漸く廣く其勢力に壓倒されて韓國紙の生產業次第に衰微に瀕し從つて輸出の減少を來たせるものなり

米(增)昨年度に於ける米作豐饒なりしは其原因の主なるものにして且つ八月以來各地方に暴動起りし爲め是等の地方に於て米穀を貯藏せるもの皆其被害を恐れ相場騰貴の時期を待たずして能ふ限り販賣を急ぎたる又一昨年末より開始せられたる大連方面への輸出漸次好況を來たしたると他本邦に於ける需用の增加と相待つて此の增加を來たせるものなり

第五節　輸入重要品の概況

品名	四十年	三十九年	增減(△)
生金巾	六三四,四〇四	二三二,八一七	四〇一,五八七
晒金巾	六四八,四一八	二二九,二八七	四一九,一三一
シーチング(日本製)	一,四一三,六三六	一,一六七,九一八	二四五,七一八
シーチング(外國製)	八四四,八七六	四〇一,七〇八	四四三,一六八
寒冷紗及リンス	一三七,二六三	九三,四一五	四三,八四八
畝織綿布	九六,六一九	一三八,四五二	△四一,八三三
日本木綿	一九〇,七一三	一六七,一六五	二三,五四八
外國木綿	二〇三,三三七	一九〇,七六三	一二,五七四
綿織糸	七六四,六一四	五〇四,七八二	二五九,八三二
生棉及打綿	三三三,三一九	四六,七七三	二八六,五四六
絹布	一,〇八一,六六〇	四七九,〇五一	六〇二,六〇九
麻苧布	八八六,二〇四	七一六,一二三	一七〇,〇八一
衣服及附屬品	二六四,四四四	三三三,四三五	△六八,九九一
鐵條及鐵板	一二三,三三八	四四,六六八	七八,六七〇
鐵板	一八五,五八四	一五九,五六九	二六,〇一五
鐵釘	四三,一八四	六七,三八八	△二四,二〇四
金屬製品	四七一,七四三	三五六,〇五四	一一五,六八九
生乾果實	六六,五六〇	八四,四三〇	△一七,八七〇
麥粉	一四一,二八二	一五五,二二五	△一三,九四三
砂糖	二八三,七一八	二六二,五一九	二一,一九九
食鹽	四八,二六九	一六,三三六	三一,九三三
醬油及味噌	六三,〇二五	七二,〇六五	△九,〇四〇
清酒	二一三,九九九	二三六,三二七	△二二,三二八
支那酒	一八一,三〇二	一四五,六〇五	三五,六九七
麥酒	四二二,六六八	三九八,三四七	二四,三二一
飲食物	一九四,九九六	一三六,九六二	五八,〇三四
建築材料	五六四,四〇六	三一一,八〇五	二五二,六〇一
石炭及コークス	六八二,五七四	六三〇,六八五	五一,八八九
紙	三三,一〇七	四四,四四四	△一一,三三七
紙卷及葉卷煙草	三〇四,五四九	[illegible]	[illegible]
煙草	二一八,二二〇	[illegible]	[illegible]
蠟燭	二六七,一四〇	[illegible]	[illegible]
染料	三三四,一七九	[illegible]	[illegible]
セメント	[illegible]	[illegible]	[illegible]
及石灰	[illegible]	[illegible]	[illegible]
家具	[illegible]	[illegible]	[illegible]
電氣用品	一〇四,三二〇	[illegible]	[illegible]
マッチ	一〇三,五〇七	[illegible]	[illegible]
器械類	一一五,五九五	[illegible]	[illegible]
石油	六四四,一〇四	[illegible]	[illegible]
製藥類	一九一,五五五	一五八,六二〇	三二,九三五
紙類	二六一,二五三	二〇二,五八一	五八,六七二
陶器及磁器	八六,〇〇六	六六,三三五	一九,六七一
鐵道材料	二,一九三,六九八	一,六六五,三二〇	五二八,三七八
文具類	七四,二二〇	九四,四五八	△二〇,二三八
叺及繩	一七九,〇〇六	一四三,二二三	三五,七八三
木材及板	九五三,五九六	五二七,五九二	四二六,〇〇四

前表輸入重要品中增減の殊に著しきものは生金巾、晒金巾、シーチング、綿織糸、絹布、麻苧布、金屬製品、石炭及コークス、鐵道材料、木材及板等なり而して是等增減の理由に就いて考ふるに

生金巾(增)本品は昨年度に比して約三倍の增加を來たせり昨年米作良好なりしが韓人の購買力を增したると殊に本年支那に於て銀貨の騰貴せるため清商人は非常に良好なる立場を得大に韓國に向つて本品の輸出を行ひしため此の增加を來たせるものなり

晒金巾(增)昨年に比し優に一倍を增加せしが其主因は全く前記の理由に因るものなり

日本製シーチング(增)本品は昨年に比して約二十四萬五千圓餘を增加せり近來韓國に於て和金巾の需用非常に多額に上りたると一方前記韓人購買力の關係より此の增加を來たせるものなり

外國製シーチング(增)本品も亦昨年に比して約一倍の增加を齎たせり元來近時和金巾の勢力發展の影響として洋金巾の勢力漸く衰微するの傾向ありしにも拘らず本年に於て約一倍の增加を來たせるは是全く既述生金巾及晒金巾增加の理由に因くものなり

綿織糸(增)約五割强の增加を來たせり本品は昨年度に於ける商況不振なりし爲め一昨年下半季に於て輸入されたる分市場に停滯して賣行捗々しからざるより昨年中其一部を本邦に向けて再輸出せしことさへあり其後商況多少回復せしも尙ほ多額の輸入を見るに至らざりしに本年に入りて漸く市場活氣を帶びたるより一時に多額の輸入を見上半季に於て既に昨年度に於ける全輸入額に略匹敵するの輸入額ありし有樣にて爲めに此の增額を來たせるなり

絹布(增)昨年に比し一倍半の增加を示せり是亦全く綿布類と其增加の主因は同じうせるものなるにより玆に贅せず

麻苧布(增)二割五分の增加を來たせり、銀貨暴騰に因り輸入の增加せるに加ふるに韓人購買力の增したる爲め彼等の嗜好漸く外國製品に移り本品の如きも韓國產品を用ひずして好んで支那產を需むるに至りし爲め斯の增加を見しなり

石炭及コークス(增)本品は鐵道、工場及び沿岸航海船用の外皆冬期暖爐用として輸入さるゝものにして韓國發展に伴ふて次第に輸入の增加するは當然の數なるべく殊に鐵道工事の進捗諸種工場の增加は本年本品輸入增加の主因たり

小說　紋のみだれ(百十二)　永井櫻園

それは休題、山田の叔父に當る、內幸町なる彼の公使館書記官和田垣純彥は、公務を帶びて一年振に歸つて來たが、昨年二月夫人篤子から、山田を放逐した書面は受取つたけれど、唯筆紙に盡し難き事情あつて、とばかり何がために放逐爲たとも詳しい事情が認めて無かつたゆゑ、歸省早々篤子に質さうと思つたが、公務の打合に忙殺されて忘れるともなくそのまゝに打過ぎたが、公務も漸く解決したので、某日篤子に向ひ

『歸る早々問ねやうと思つて、そのまゝ打過ぎて居つたが、邦男は一體奈何云ふ事情があつて家を出したのだ。』

『邦男さんですか。本當に彼の人にばかりは私も困り果ましてございますよ。まあお話しする前に些と御目に掛けるものがございますから持つて參りませう。』

と起つて、自分の室から一葉の新聞を取出して來て、

『まあ、これを讀んで見て下さいまし、新聞にまで斯麼事が出て居ります。』

と純彥に渡す、純彥は何事ならんと取上げて讀み了つたが。

『これは事實斯う云ふ事があつたのか。』

篤子は此處ぞと膝を進め、

『あつたか所ぢやあございません、貴方の御出發前と御出發後とは、全然人が變つた程不可くなりまして、學校の方は月に十日も行けば大層な事で、月に依ると一週間ぐらゐしか行かない事もありました、夜は毎晩十一時、十二時が打たねば歸つて來ず時には泊つて來る事もありましたんですから、私の監督の爲やうが惡いと、また貴方から叱りを受けてはならないと、時々意見も爲ましたけれど何を言ひましても二十四にも五にもなつて、モウ小兒ぢやありませず、然う、嚴しくも申されませず、眞個邦雄さんには、往生爲ましてございます、それから暫くすると、女名前の手紙が毎日のやうに來て居りましたが、それが宜い鹽梅に來なくなつたと思ふと、間もなく貴方こんな新聞でせう、でも私は豈夫斯麼事はあるまいと知らないで居りますと、來る方來る方が、お宅には大層意氣な書生さんが居られますのね、この間新聞に出て居たじやありませんかと仰しやるでせう、それから吃驚してその新聞を買に遣つて讀んで見ますと、これなんでせういくら私が辛抱強くても、入來つしやる皆樣に面目なくつて我慢が能なくなりましたもんですから、いろ〳〵思案した末に事情を述べて、當分困らないだけのお金子を上げて、外へ轉つて貰ひました。まだ此外にもお話し申すなら一々枚擧へられないほど種々不服はありますけれどまあ概略然う云ふ事情でお斷り申したんでございます。』

と、眞實、嘘言取交せて物語つた。純彥は以前から篤子が邦男を嫌ひつゝあつた事を知つて居るゆゑ、其處は有繋に外交官だけに、早くもそれが重なる原因であるとは察したものゝ、しかし新聞と言ふ爭はれない證據があるので、邦男の素行が墮落した事も認めたのであるけれども、篤子の前では言ふべき事にあらねば、

『實に爲方の無い奴だな、それで今は何處に居るのか。』

『何處に居なさるんだか貴方、出てからもう二年からになりますのに、はがき一本寄來さないんですもの、貴方の甥ですけれど、必然那麼方つてあるもんじやありません、斷つたのを遺恨にでも思つて居らつしやるんでせうよ、誰でも自分が惡いと思ふものはございませんからね。』

『然うか、居所も知らさないのか……怪しからん奴だ。』

とは言つたが、唯た一人の甥と云ひ、自分の生家たる山田家の相續人であるゆゑ、打棄て置く譯に往かぬので、密かにその行衛を搜索爲やうと決心した。



●漢城便り

▲一日に統監の歸任も近づき候に付公を以て米國の泉源と致し居り候連中は皆々公を迎ふるの準備に忙しき樣相見受申候

▲一進會が伊藤公を以て米國の泉源と致し居候事は世人の知らるゝ通りに御座候而して同會も公の歸韓を迎ふるの準備に忙しとの事に及申候

▲昨年五月以來一進會が統監の御用黨となり統監の機嫌に副ふ樣に立働き來りたるは事實に御座候彼等は小功の爲に生涯政權を專にし得るもの如く思惟致居候滑稽なる彼等は公の歸任を待つて純一進會内閣組織を要求するとの事に御座候斯く彼等は公が彼等の要請を容易に納るゝものゝ如く考へ己に新内閣の役割をへ定め居りとの事に御座候

▲併し彼等の考の如く行かず若し統監にして彼等の要請を拒むが如き場合に於ては直ちに公を威迫するが如き事もあらんことを見越し其爲め目下示威的反抗をなすの準備に取掛りたりとの事に御座候

▲斯る次第なれば公にして同會の撮出したる要請を拒絶することもあらば彼等は茲に失望して昨の御用黨は直ちに化して排日の暴徒と相成り可申候

▲歸任後の統監が一進會を如何に處分するやは一寸見物に有之べくと存候昨夏政變の折他の韓政社と同じく同會の解散を断行したらんにはあまり多くの手切金を出さずして絶縁の出來たる事と存候薄情を以て名ある統監が絶縁斷行を敢てせざりしは大なる手落なりしと被存候

▲一進會の側より申せば狐兎死して獵狗煮らるの實現を避け度は山々に有之べくと被存候併し伊藤公は有名なる薄情漢に候公が暴徒の鎭定を望むや切なる今日に於て過去の小功位の爲に暴徒鎭定に邪魔なる一進會を永遠飼すべしとは思はれざる事に御座候

▲仁川金融組合が第一銀行に對する債務の履行期も段々近附き申候今の金融狀態に於て第一銀行が一時に同組合に向て回收を逼り候とて夫は只紛議を生ずる迄に有之べくと存候

▲第一の態度次第によりては昨紙漢城便りにて申候樣なる暴風の襲來を招ぎ候事とも相成可申かと憂慮被致候序を以て言及仕候

▲加奈陀首相の演説

紐育電報

加奈太首相の議會に於ける演説は新聞紙に掲載することを禁ぜらる其の演説の要綱は日英兩國は結局相合して米國に抵抗し太西洋に於ける日英相互の利權を保護せざるべからずといふにあり（八日發東京經由）

▲海相の吊電と英國

東京電報

英國ポーツマスにて同國驅逐艦沈没し乗組員三十六名死亡せしに付齋藤海軍大臣より吊電を發せしに英國より懇篤なる謝電來れり

▲英獨兩皇室の吊電

有栖川若宮殿下薨去に付英獨兩皇室より御吊電來れり（以上七日午後發）

雜報

●皇帝の御運動　皇帝　皇后には御運動の爲め七日午後三時三十分暎花堂へ出御五時五十五分還御あらせらる

●韓國法典編纂　梅博士の監督の下に進行中の韓國法典の調査は昨今大に進行し刑法及刑事訴訟法民事訴訟法は略脱稿したる由なるが民法其の他の各種法律は漸次起草に着手し豫定の二箇年内には全部完成を告ぐる見込なりと

●吉長線協商　吉長線の實測は已に結了し目下日清兩國委員に於て該線路の設定及豫算に就き商議中なるが該鐵道の主腦たるべき技師長は日清協約に依り無論日本人側より選任せらるべく當局者は目下選擇中なるが多分滿鐵會社側より選任さる可しと

●一進會の示威運動

一進會が昨年五月以來統監の御用黨となりて政權に接近し其會員等が統監の名を用ゐて韓人間に傍若無人の振舞を爲し居ることは世人の已に知る處なるが聞くところによれば同會にては統監の歸任を待つて純一進會内閣組織の事を公に要請し若し聽かれざるに於ては公に向て絶縁反抗の態度を示さんが爲目下示威的運動の準備中なりと云ふ

●尹吉炳の進退

六ヶ條建議問題の爲中樞院贊議を止められ又一進會より除名處分を受けたる尹吉炳は尹始炳兪鶴柱の輩と共に元の獨立協會員にして今の一進會が未だ維新會と稱せし當時より會の領袖として重望を負ひ來りたる次第なるが今回自己の創立せし會より除名處分を受けたるに付ては大に憤慨し其兄尹始炳と共に舊獨立協會の殘黨を糾合し大に爲すあらんとし目下夫々運動中なりとの事なるが一進會にして若し舊獨立協會派の全部を失ふこともならば同會の幹部は一人の人物無きに至るべく從つて會勢の衰ふるは必然なるべしと云ふ

●中樞院正副議長の内定　中樞院議長は金允植氏に副議長は元警務使たりし許身氏に内定し居れりと

●故スチーヴンス氏追吊會變更

豫て報導せし通り故スチーヴンス氏の追吊會は本日午後二時南山町本願寺に於て執行の筈なりしも都合に依り會場を貞洞英國教會（英國總領事館前）に變更し尚ほ時刻を同日午後四時に繰り下げたり

●農商工部の摸範林　目下殖林の季節につき農商工部山林局にては平壤、大邱、鷺梁津には岡技師出張して模範林經營中なるが平壤にては百町歩の殖林をなし大邱には李技手出張して五十町歩を何れも松、櫟、落葉松、ポプラ、アカシヤ等を植樹しつゝありと尚西大門外なる鞍峴に十町歩北門内の白雲門に五町歩の模範林を經營する筈にて近々着手すべし而して植樹中松、落葉松は建築用材を得る目的にして五十年を經ば伐採し得べく櫟は薪炭用にして第一回は十二年乃至十五年にして採取し得べく第二回伐採は八年乃至十年にして足るべく又ポプラは生育速かにして軸木（マッチ）經木燐田の材料となしアカシヤは枕木或は薪炭材として適當なりと云ふ

●内部分課規定の改正　内部警務局にては事務處理の便宜上近々内部分課規定を改正すると共に課長中一二の交迭ある筈なり

●税關支署管轄區域　度支部大臣は各税關支署位置及び管轄區域を左の通り定め本月一日より施行せり

群山税關支署　全羅北道群山
管轄區域　全羅北道、忠清南道保寧、藍浦、庇仁、舒川、鴻山、林川、韓山、扶餘、石城、公州、魯城、恩津、鎭岑、連山、文義、懷徳の各郡

木浦税關支署　全羅南道木浦
管轄區域　全羅南道（光陽順天二郡を除く）

馬山税關支署　慶尚南道馬山
管轄區域　慶尚南道熊川、昌山、靈山郡以西

城津税關支署　咸鏡北道城津
管轄區域　全羅南道光陽、順天、咸鏡南道利原、端川、甲の各郡

淸津税關支署　咸鏡北道淸津
管轄區域　咸鏡北道吉州、明川各郡、咸鏡北道（明川、吉州の二郡を除く）

新義州税關支署　平安北道新義州
管轄區域　平安北道

●税關監視署の新設　關税局に於ては今回左の各地に税關監視署を設置し來る十日より開廳する由なり

慶尚南道蔚山　慶尚南道多太浦
慶尚南道舊馬山浦　慶尚南道長承浦
慶尚南道統營

●土地査證と郡衙　土地證明規則の發布せられしより之が所有權の不確實なりしものも初めて認めらるゝこととなり爲に本邦人も茲に安心して土地を購入するを得るに至りたるは實に慶すべき次第なるも此に最も不便なるは地方に於て土地を購買するに當りて之が査證を管轄廳たる理事廳に申請する際理事者は之を其備付の土地臺帳に登記して其購入土地關係の郡衙に向つて移牒し郡守之に依りて郡衙備付の土地に登記し茲に初めて効力を生ずるものなるも例の呑氣なる韓國官吏のこととて容易に之が登記をなさず爲めに理事廳に於てのみ査證をなしたりとて之れが轉賣をなすに當りて甚だしき障害を釀生するに至らずとせず之れが爲め當事者の蒙むる損害も亦た少からざるべし韓國當局者は此點に於て熟考して一日も速かに此等の弊を除去せられたきものなり

●漢江沿岸の警戒

近來暴徒が京城に侵入せんとするの目的あるを以て警視廳に於ては大に之を憂慮し目下嚴重に警戒中なるが漢江の沿岸は最も警戒を嚴にし昨今に至りては午後六時より舟楫の上下を禁じ居れりと

●麻田の賊徒　四月四日午前四時三十分暴徒約三百來襲周圍の山上より麻田憲兵分遣所に向て射擊せり其距離約千米突我は之を近づけんとし山頂に全員を配置したるも應戰せしめず賊徒は漸次接近四百米突に及び盆亂射せり我は射擊を開始し應戰三時間半にして我より突擊を試みたり賊徒は我突擊の狀態を見て四散したり賊徒の主力が麻田の北方山腹を退去するを發見し之を郡内面冷井里迄追擊せしも道路險惡なるのみならず遂に午前十時半引揚げたり賊の傷者二十を下らず退路に血痕多く遺せり

●賊舊韓兵を拉去す　四月六日午前七時頃高陽郡神穴面礪石里に五日夜十一時頃銃器携行の賊徒約三十余名京城方面より來り突然該里内に闖入して以前兵役に關係ある住民十二名を捕縛し鷄鳴の頃京城方面に立退きたる由高陽憲兵分遣所に届出たるを以て所長以下五名即時出張取調たる所拉去せられたるもの一名も歸宅せず且つ其他の里民も憲兵の出張せしより初めて山中より歸宅すると云ふ有樣なりしが里民に案内せしめ立退たる北漢山脈及部落を隈なく搜索せしも形跡なし察するに賊徒は兵力を増加せしむる爲め舊兵を拉去せしものゝ如く金品の掠奪は爲さゞりし

●特設巡査隊の行動　本據は全羅南道同福に置き附近の搜索に從事せる第二巡査隊第一班は三月十九日暴徒首魁金泰元のために兵糧米百五十石の密藏をなせる者一名を逮捕し銃器一挺を押收せり又中條少尉に屬せる巡査隊は三月廿一日偵察任務に從事し靈光郡廣谷に集團せる暴徒を攻擊し其の四名を殪せり全羅南道の暴徒は漸く頹勢に傾き首魁は金泰元一名を餘すのみにして多數の暴徒は内心歸順の希望盛んなるも金泰元が歸順者は其の一族を殺戮すべしと揚言しつゝあるを恐れて何れも歸順を躊躇する狀あり巡査隊は極力首魁の逮捕に努めつゝありと云ふ

●朴殷植氏の親日　曾て排日思想を抱き大韓每日申報に曲筆を振ひ日韓の關係を阻害せんと努めつゝありし朴殷植氏は知己友人の忠告を容れ大に顧る處あり斷然同社を辭し今回友人の推薦に依り皇城新聞に入社し執筆することゝなれり

●大同會副會長當撰　大同會副會長李榮は或る犯罪嫌疑の爲め警視廳に拘引せられし爲め會務の處理進捗上差支を生ずるに依り六日同會事務所に於て其補缺選擧會を開きたる結果前掌禮院副卿從二品徐肯淳氏當選したり

●赤十字社韓國支部の増設

日本赤十字韓國委員部は從來本部を統監府所在地に支部を理事廳所在地に置き社業を擴張しつゝありしが尚廣く韓國篤志者の入社に便ずるため今般理事廳支廳の設けあり觀察府所在地にも支部を増設するの計畫あり不日本社長より改正規則の實施ある筈なりと

●郵便爲替貯金取扱高

京城郵便局四十年度中に取扱ひたる郵便爲替貯金等の口數及金額は左表の如くにして其金額に至りては實に千三百二十九萬圓以上に達せり之を内地の郵便局に比するに屆指の局に對して五六番と降らざる由なり然るに之を取扱ふ吏員は資金運轉に僅かに三人其他は五人を充當しあるのみなれば其繁忙なること局外者の想到し得ざる程なりと云ふ

種別	受入口數	受入金額（圓）
郵便爲替	一七、九六三	二、六六八、三七五、八六三
外國爲替	二六八	六六、六五三、三二〇
郵便取立金	六、六四二	九六四、四四四、三三〇
外國取立金	六	一〇四、〇七〇
郵便貯金	三、四三五	一四、五六〇、一〇八
振替貯金	二、三六一	三三六、六九八、六五六
歲出入	一三、二三三	三四八、四三〇、七五五
雜部金	二〇、一三七	三八、六二九、八四〇
計		三、五七九、七三三、九三三
資金運轉	六、七七八	三、〇五〇、九四四、二七六

種別	拂渡口數	拂渡金額（圓）
郵便爲替	三六、六二五	九七二、〇四一、〇六六
外國爲替	三三五	三二、三五二、三八〇
郵便取立金	六、〇九二	五四、三四五、八六五
外國取立金	—	—
郵便貯金	七、五八七	一四一、九九〇、七五三
振替貯金	一〇六	七、五八四、五五七
歲出入	二、三八八	三四、一八六、四一〇
雜部金	一〇五	三八、三三一、四八〇
計		一、四九〇、六〇四、五〇七
資金運轉	一、九〇六	五、三〇五、三〇七、〇八四

●仁川穀物商況

例年二三の兩月中は大豆の出廻り高頗る多きを常とせるも本年は屢々報導せる如く販地不味の爲め輸出振はざると仁川商人が過度に悲觀して大口の入荷あらば弱味に附け込んで叩き落すの風あるより勢ひ地方韓人の賣惜みとなり中には釜山其他の貿易場へ廻送するもの尠からざる有樣となれり即ち前月中の市場賣買高を擧ぐれば左の如し

三月中市場賣買高

種類	石
籾	二、五六六、四九〇〇
玄米	一五、四六三、一二八五
大豆	一七、二四四、七一七〇
小豆	二五三、六八七〇
荏子	一八、八〇〇〇
綠豆	二九、五〇〇〇
大麥	二一九、〇六〇〇
小麥	九九、九三九〇
合計	三五、八九五、七六七五

而して前述の如く昨年來阪地相場出合はざる爲め仁川の輸出は一向捗々しからず漸次停滯の傾きありて在來の圍ひものあるに拘らず同月中に輸出されたるものは左記に過ぎず

同月中輸出高

種類	數量
大豆	一六、二〇五、五〇〇〇
白米	五、六五三、二〇〇〇
玄米	五九二、三五〇〇
小豆	二四〇、〇〇〇〇
小麥	七九、〇〇〇〇
荏子	七四、〇〇〇〇
綠豆	三九、五〇〇〇
合計	二二、八七五、〇五〇〇

右の中大豆は主として阪神馬關其他に向けられ白米は大連を重なる顧客とし小豆以下は殆んど阪神に限らるゝ有樣なり

●尼ヶ崎滊船の値下　鐵道輸送に對し大坂商船が船客の運賃を値下したるより仁川尼ヶ崎支店も右値下をなすべく本店に交渉したることは既報せし所なるが愈々本店より値下げすべき旨通知し來りたるを以て本日仁川出帆の大友より坂神行從來七圓五十錢なりしを七圓に關門行五圓五十錢なりしを五圓に値下し大に船客の募集に盡力すべしと云ふ

●鶴原長官歸任　政府委員として帝國議會列席の爲め歸朝中なりし統監府總務長官鶴原定吉氏は昨日午後八時三十分南大門着の列車にて歸任されたり

●三浦理事官の歸任期　過日來京義沿線の視察中なりし三浦京城理事官は同沿線の視察を了へ昨日頃水原及び鳥致院地方の視察中にて同方面の視察を了へ次第來る十日頃歸任の筈なり

●漢城病院副院長決定　京城居留民團立漢城病院副院長は目下福岡醫科大學第一外科教室勤務醫學士鷄田善重氏を招聘することに決定し不日着任の筈なり

●高等女學校教諭招聘　民團立高等女學校主席教諭として文學士成田忠良氏を招聘することに決定し本月二十五日迄に着任する由なり氏は現に宮城縣立中學校教諭たる人なりと

●大橋主事出張　本日水原地方に於ける日本赤十字社事務視察及愛國婦人會々務擴張着手の爲め出張し赤十字及婦人會に因ある活動寫眞をも開催する筈

●學校教官の赴任　鹿兒島縣肝屬郡視學たりし鹿子木義明氏は今回定州公立普通學校訓導兼教官に任ぜられ本月四日來京し學部に於て事務の打合せを了し本日出發赴任する筈なり

●新募巡査の地方赴任　既報内部警務局に於て新たに採用したる巡査三十七名は本月十日を以て其の教習を終了し十一日より各道警察署同分署へ向け各々赴任する筈也

●韓官任命　七日左の如く任命ありたり

正三品　黃耆淵
任奎章閣祗候官叙勅任官四等
文昌奎
任宮内府車馬監叙奏任官四等
正三品　徐丙台
六品　金炳稷
同　洪性斗
同　金東朱
同　李宇振
御閣主事　金鎔鎭
任侍從院侍從補

●在韓巡査叙勳

元領事館及び警務顧問本部附巡査二百七十二名に對し戰役の功により叙勳の御沙汰あり賞勳局より内部警務局へ宛て該勳章を送附し來りたるを以て何れも近々交付せらるゝ筈なり

●東洋協會學校卒業式　大和町東洋協會專門學校京城分校にては來る十二日午前十時第一回卒業式を擧行する筈

●仁川高等女學校　仁川高等女學校にては既に去る六日より授業し居れるが目下の在學生は二十餘名にて近々盛大なる開校式を擧行すべしと云ふ

●修學院の生徒募集　昨年創設せられたる修學院は現在生徒二十名なるが新學期と共に近く八十名の生徒を募集して校務を擴張する計畫なりと云ふ

●軍需品の陸揚　昨日仁川に入港したる大禮丸にて仁川陸軍運輸部に兵器及軍需品二百個を揚陸したり

●近事片々

▲燈臺　元暗し統監府屬僚の官紀弛緩問題が祖國に於て大評判なりとの消息を聞きぬ

▲大朝　の天聲人語で統監府の屬僚先生鬼の居ぬ間の洗濯官紀弛緩云々と頻に冷嘲す

▲依是　觀之大評判かも知れぬ諸事實はドーデあるか此譏は免れまい大に振肅すべし

▲同情　もて觀るも辯護する點は見出さぬ迂濶し居るからヨボ共が尚附上る眠を醒せ

▲我老　骨は長白山頂に埋て鷄林の山河を守護せむと力味し伊公今尚ほ此勇氣ありや

▲一寸　得意になると威張て見たいのが公の病僻今度も亦何と唸るか解らぬ雁眉用心

▲鶴原　君も今度は歸任するそうだ永々東京で暴徒鎭定近しの説明御苦勞で御座る

▲誰も　鶴原は總務長官で伊公に小僧扱をされるのは氣の毒と云て居る御本人然り氣也

▲多士　濟々の統監府が一向成績見へぬは不思議と事情を知らぬ祖國では怪むと云ふ

▲多士　濟々が怪しい能く觀ると幽靈の正體見たり枯尾花の感がある不成蹟は當然耳

▲去る　日曜勞働懇親會催さる中々盛也之れ尹始炳を總裁とせる勞働夜學會の催なり

▲組織　の目的雖不知張博愈吉濬趙義淵等關係する處を見ば過激なる勞働團体ならじ

▲知名　の韓人暗殺の嫌疑によりて拘引せらるゝ者弗々ありと聞く火元の衞留肝要也

▲昨春　も暗殺騷きあり朴鏞和の血祭によりて幕明となりし血腥き騷動は御免を蒙る

▲伊公　來は韓人に多少の反響を與ると見へ暗殺杯の評判は何時も此時に起るが例也

▲宋秉　畯も伊公に伴隨し來ると云ふが能く歸て來る臆病風に吹れて腰が拔はせぬか

▲世は　種々で宋は歸ると首相になつて完用と變るといふ評判もある催面白いものだ

▲東京　の大評判大久保强姦致死事件の犯人も遂に捕縛されて疑問は漸く解決された

▲犯人　池田某湯屋を覗き艶子の美肌に實感を挑發されたが原因なりと美の力も怖し

●仁川税關官舍の落成期　仁川税關の官舍は昨年一月より建設に着手し明日を以て完成の見込なりしが種々の故障ありたる爲遷延したるも本月末には完成すべき筈なりと云ふ

●日本基督教會の親睦會　東京傳道局派遣牧師石原保太郎氏は蒲韓傳道の爲め來京又東京富士見町教會長老たりし渡邊暢氏は韓國大審院長として着任せられしを機とし本日午後七時より南大門外コルテス氏方に於て日本基督教員の親睦會を催ふす由尚同教會員には夫々案内狀を發したる由なるも案内に漏れし同教會員及び同教會に縁故ありし人は成る可く繰り合せ出席を希望する由となり

●七日參内者　德宮計四十九人（内婦人六人）重なるは宮内大臣李允用承候官尹澤榮侍從院卿尹德榮侍從院副卿李會九[illegible]（内婦人四十一人）重なるは義親王大韓醫院長佐藤進書記官佐々木四方志警官鈴木謙之助渡邊繙譯官夫人承寧府總管朴齊斌趙民熙同副總管朴齊斌侍從長金春照[illegible]金相昱侍從洪奎植侍從金永甲等なり

△小澤[illegible]（陸軍憲兵大尉）山本旅館へ投宿
△高瀬貞之助（陸軍歩兵中尉）牧野旅館へ投宿

（三）　第百廿一號　（木曜日）　京城新報　明治四十一年四月九日　（第三種郵便物認可）

●仁川稅關官舍の落成期　仁川稅關の官舍は昨年一月より建設に着手し明日を以て完成の見込みなりしが諸種の故障ありたる爲遲延したるも本月末には完成すべき筈なりと云ふ

●永登浦三大工場の現況

永登浦には大塚醬油釀造場、志岐組の煉瓦及び瓦工場、度支部の土管及び瓦工場の三大工場あり此三大工場は殆んど永登浦繁榮の生命とも云ふべきものにして同地の繁榮は一に此三工場にありと云ふも誣言にはあらざるべし今此に三工場の現況を記せんに大塚醬油釀造工場は昨年其計畫をなし此程漸く其工を竣へ本月下旬より既成醬油の大販賣をなす由其用ふる所の商標は角京、龜甲吉向の二種にして其販路は韓國鐵道全線及び淸國滿洲方面に輸出する計畫にて其主任は門戶勝太郎氏なり志岐組煉瓦及び瓦工場は京釜鐵道時代より盛に其業を營み來りしが遂年成運に赴きつゝありて地方に輸出するもの頗る多し煉瓦工場主任は內田泰藏氏、瓦工場主任は長島綱吉氏なり度支部土管及び瓦工場は最も嶄新なる機關を備へ日々數百の職工を使用し數萬の製品を出しつゝあり同部の製品は各稅關工事及び韓國各官衙の建築用に使用するに過ぎざれど又た韓國有數の工場なり主任技師山下氏は最も斯業の經驗ある人にして其製出品は本邦尾張產のものよりは遙かに優れりと要するに永登浦の土質は此等の製造に最も適したるものあるが爲めなるべし

●達城公園期成會の規則違犯　大和町二丁目宮の朝鮮發行人向島豊三郎居宅の門前に大邱達城公園期成會々員募集の廣告を揭げ而して其の內容は應募會員に對し一名に就き金百圓を徵し其證として福引券を交付する由警察署の聞き付くる所となりしを以て早速本人を喚び出し取り調べし所其の申し立てに過ぐる三月十五日大邱に於て同地の日本人商業會議所書記長井上宗介なるものより右會員募集の依囑を受けしより直ちに承諾し越へて同月二十八日自分が歸京したる後井上より入會證即ち福引券證並びに會員領收證一百枚を送付し來りしに依り當地の應募者四人に對し各々金一圓にて販賣し同時に福引券四枚を交付したるが殘り九十六枚は今に保存しある旨申出でたるが元來大邱達城公園期成會の主旨たるや言ふ迄もなく該公園の設立を期せんが爲めにして之が會員の募集は取りも直さず其の募に應じたる會員の會費を以て之が一切の經費に充つるものたる又言ふ迄もなき所なり而して右は該期成會々頭岩瀨靜なるもの丶名義を以て本年三月十二日大邱理事廳に願ひ出で之が認可を得たるものなるが區域外に涉り之が會員の募集を爲す能はざるは勿論にして之れ警察規則第三條の示す所又當時差し出したる願書に依つても確に熟知せる筈なり然るに此の規則を無視して敢て此の行ひに出でたるは是れ明かに該規則に違犯したるものなるに依り其旨本人に諭告して直ちに之を差し止め且つ其の所持せる福引券並びに領收證を沒收したりと

●日本基督教會の親睦會　東京傳道局派遣教師石原保太郎氏は滿韓傳道の爲め來京し又東京富士見町教會長老たりし渡邊暢氏は韓國大審院長として着任せられしを機とし本日午後七時より南大門外コルテス氏方に於て日本基督教員の親睦會を催ふす由尙同教會員には夫々案內狀を發したる由なるも案內に漏れし同教會員及び同教會に緣故ありし人は成る可く繰り合せ出席を希望する由となり

●金庫の泥棒は店員　本町四丁目の渡邊中齋といへば先きに官金數千圓の費消者を出せし郵便取扱所にして貴商を營める店主なるが去る七日午後七時頃百六十五圓ばかり入りたる鐵製の手提金庫を店頭に於て紛失したりといへり是れに就て聞く所によれば店員に高知縣高知市本町筋一丁目の者にて金崎豊吉（十九）といへる者あり此の日敷島二個を井門樓より注文ありしとて持ち行き金庫は井門樓の附近に捨てありしといへば或は豊吉が家人の隙を窺ひ敷島と共に金庫を持ち出し井門樓附近にて在中の金を取り出し其空箱を投げ捨て置きて恰も他に竊盜の忍び入りて盜み去りたるが如く裝ひたるものにはあらざるか

●泥的官舍を犯す　京城郵便局長佐々木三郎氏の邸宅玄關に官舍の裝飾品として大枚五十圓許りの置時計の据付あることは一たび同邸を訪ひし者の能く知る所なるが昨日の午前七時頃大膽にもこれを引つ擔いで盜み去りし者あり其の犯人は多分韓人なるべし

●百八十圓の持逃げ　兵庫縣赤穗郡飯安村の者にて目下南大門通三丁目戶倉鐵次郎方に止宿する福本福太郎（四十）は去る七日金百七十八圓を拐帶して逃走したる旨を以て取押方三日月旅館止宿中の丸山忠三より屆出たるが手飼の犬とても油斷はならぬものなり

●起訴せらる（王城に忍び入りたる兩名）　去月二十九日龍山に於ける大工の松浦精三郎、玉置貞太郎の兩名が新王城敦德殿に忍び入り警衞の者に捕はられしことは既報せし所なるが斯ることは人情風俗を異にする當地に於て日本人の行爲さしては敢て珍らしきことにあらざるも普通民家と異り假りにも王城といへるからには不問に附する譯にも行かぬと見ゑて一昨日邸宅侵入罪として起訴せられしが更らに其の事情を糺せば全く無意犯なるが故に倘し有罪と決定せらるゝとも現刑は猶豫せらるゝなるべし

●勇次の一二度の勸め　四民平等の制は布かれても士族の商業は失敗と相場が極り生れついたる饅頭屋は餅でも團子でも世渡りが出來ぬと見へて去年の十二月中旬頃まで新町の高島屋に三味線さ枕を兩手に持つてへ一今晚はど細からぬ尻を突き出し勇次といへば起つ鳥を落すほどの全盛はなけれど翼のない鳥を轉がすほどの名は聞ゑて越人呉客否日人韓客の我も我もと通へる者も尠なからず勇次は剛の者にて同夜押し寄せ來れる其の敵軍を見ん事斬りまくり高島樓上每日每夜屍は算を亂せる如く枕を駢べて戰死する者其の數を知らずといふ有樣にてこれが爲めに高島屋の名もまた一層に高くなり勇次の勇名も泥硯の衞に鳴きしが斯くも日夜の戰闘には巴、板額といへども氣根の續くべきにあらず況してや氏も育ちもなき勇次何どて限りなき敵に打ち勝つべき急所に負傷して病院に跛跌ひきつゝ通へりしことも再三ならず蓮生坊は敎盤を打つて悟道に入りし昔しを偲び勇次は只ある坊ちやんを勘當の身にして大悟徹底したるか否かは甚だ疑問なるも俄かにだいを捏ねて同樓を飛び出し當時本町七丁目に開業して表面は專門藝妓と觸れ出し此所の要所に砦其の名も床しき元祿亭といへるに籍を替ねを構へて新町通ひの遊客を喰ひ留めて雄ぎ立て斬り立て再び同亭の勇將と濟國人にまで謳はれしが盛んなる時は久しからずの諺に漏れず同亭は過し頃閉店の悲運に陷り追がの勇次も寄る邊なき浪人の身となり英雄の末路憐むべく口入屋の裏二階に配所の月ならぬ居候の憂境涯を暮らせるより斯る剛の者を塵塚に埋め置んは惜しき限りさ幣を厚うし召抱へんといへる大名小名香料理屋飲食店淫賣店の申込み櫛の齒を引くが如く應接に遑あらぬはざなれど元祿に百二十圓の借金未濟とあつて我身が我身の儘ならず左や右くさ思案に沈める所へ能き掠鳥ござんなれと待ち設けたる潜りや遊人ども付け入つて六でもなき附け智惠をするもあれば此方くござれど宜からぬ暗路に導き入れんとするもあり磨つた採んだの揚句の果が何とか肩書のある人の仲裁にて太平町の田舍屋に再び源氏名を勇次と呼び左褄取ることとなつて落着に及んだが一昨夜のことなるが昔し取つたる杵柄の驍名又もや揚るや奈何

●一般患者の診療に從事す●

前院長橋本三男氏後任として今般元福岡醫科大學醫員たりし百合野寅松氏本日より診療に從事せらる

新王城大漢門前

日韓病院

本院は最新治療法を旨とし梅毒、痳病、下疳は本院の獨特とす
腫物、婦人病には特にビール氏の欝血療法を施す

●韓人の燒死　七日夜午後九時中署典洞三十四統六戶金省宮方鄭樂榮は長女代桑と溫突に寢臥し枕邊にある『カンテラ』を顚倒して長女の寢具に燃移り直に消止めたるも鄭樂榮（八十）は火傷し生命覺束なく長女代桑（七つ）は燒死せり

●韓人の自殺（未遂）　去る七日の夜當地明治町の憲兵隊の左側裏手に於て韓人が小刀を以て咽喉を突き自殺したりさの噂がぱつと明洞に擴まり彌次馬どもが馳せつけるより兎耳子また其の尻馬に乘つて現場に臨んで見ると明禮坊明洞五十四統一戶の酒商朴春明（四十）が久しく病氣に罹り赤貧にして治療の手當は出來ず此のまゝ生長らへた所が苦しみのみにして何一つ樂みもなければ一層のこと死んでのけんと一寸蠻發して咽に小刀を當てゝ突き立てゝ見たものゝ痛くて死ぬるほどに突込むことが出來ぬと何所までもヨボ式であつて其の負傷は富久尾醫師の診定によれば一週間も經過せば全癒に至るべしとのことなり

●七日參內者　慶德宮計四十九人（內婦人六人）重なるは宮內大臣李允用、承[illegible]（內婦人四十一人）重なるは義親王大韓醫院長佐藤進、醫官佐々木四方志、醫官鈴木謙之助

[illegible]

△小澤晉（陸軍憲兵大尉）山本旅館へ投宿
△高瀨貞之亟（陸軍步兵中尉）牧野旅館へ投宿

●豚を殺して科料　淸潔法施行に際し南大門外の屠畜場に於て當該監督者の檢査を受けずして豚二頭を屠殺したることを發見せし由は前號に記載せしが其後聞く所によれば右營業者天谷八郎はこれが爲め科料金一圓の處分を受けたりとのことなり

●朝鮮パック第三號　記事漫畫飽迄滑稽に出來上り號を重ぬるに從つて益々パック式の本能を發揮し來る所いと嬉しとなす、表紙の畫思はず人を噴き出さしめ又中間の『京仁實業家と銀行屋のトンチンカン』の漫畫覺えず見るものをして頤を外さしむ（南山町朝鮮パック社發行）

夏物新着荷大賣出し

空氣呼鈴並に室内電話

新新流行の洋傘やねくたい其の他歐米雜貨各種荷着致し候間御観覧旁々當店へ御來店有られん事偏に乞願奉り候敬具

韓國京城本町六丁目

歐米雜貨商 中塚支店

謹告

小生儀是迄大阪福田京城支店ニ於テ經營罷在候處今般協議ノ結果同店ヲ辭シ左ノ場所ニ於テ獨立營業開始仕候間何卒倍舊ノ御愛顧御引立ノ程願上候

京城永樂町二丁目赤門前

活版印刷業 諸帳簿製造 博誠舍印刷所

諸官衙御用達 同旭町一丁目三河屋旅館 酒井惠三郎

臨時移轉廣告

今般改築中當分本町四丁目淵上商店内及ひ第一銀行横手の二ケ所に於て臨時營業仕候間不相變御引立の程伏て奉懇願候

以上

內外藥品 有名賣藥 卸小賣商

京城本町四丁目

近藤貴生堂藥房

(電話一三八番)

▲電車割引券發賣

▲電車割引券改正

▲龍山線區域改正

▲電車發着時間改正

四日一日より鐘路本社及龍山電車停車場にて發賣す 六十枚綴一冊に付金二圓八十五錢何れの區域にも使用し得べし

四月一日以後は南大門驛前を境界點とし同點より鐘路及龍山迄を各一區域とす

四月一日以降は夏期時間表に依り電車を運轉す

韓米電氣會社

會席御料理

並に仕出し

京城三好町歌舞伎座前

筑紫亭

移轉廣告

今般左記ノ個所へ移轉仕候ニ付テハ爾後一層品質ヲ精撰シ技術尤モ精巧ニシテ價格低廉ニ大勉强可仕倍舊ノ御愛顧伏テ奉希候

京城本町四丁目 赤帽子號印舖

諸官衙御用印刻處 奧野岩太郎

電話九三三

御料理開店御披露

並に壽き焼かしわ

新築落成仕候に付き客月二十九日より開業罷在候間續々御來車被下度奉願上候 敬具

京城南山町三丁目

〇勝

會席御料理

並ニ仕出し

京城壽町一丁目

香川亭

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

資本金三百万圓

本店 大阪市西區北堀江通五丁目

支店 釜山 仁川 平壤 鎭南浦 安東縣

株式會社 第五十八銀行京城支店

(電話五八番)

爲替取組先

畿內	二十七ケ所	東海道	二十八ケ所		
東山道	十三ケ所	北陸道	十ケ所		
南海道	七十五ケ所	山陰道	十三ケ所		
山陽道	二十三ケ所	西海道	三十ケ所		
北海道	五ケ所	韓國	九ケ所		
臺灣	二ケ所	清國	一ケ所		

內外書籍新聞雜誌 和洋雜貨日用品

文房具學校用品

大阪朝日新聞 一ケ月四十五錢

同 毎日新聞 一ケ月四十五錢

京城本町三丁目

太平田商店

(電話百十五番)

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 八拾萬圓

京城南大門通(電話四二〇)

株式會社 十八銀行京城支店

本店 長崎市築町

支店出張所 京城、仁川、釜山、羣山、木浦、元山、龍山、鎭南浦

韓國

日本 大阪、佐世保、五島、熊本、嚴原、壹岐

其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理店

(十八銀行京城支店)

日本澤庵 味噌醬油製造 乾物荒物鑵詰 銘茶食料雜貨

漬物問屋

京城本町五丁目

大上商店

(電話二五一番)

原金旅館

本店 仁川理事廳通(電話三二番)

支店 京城南山町(電話一〇七番)

拾有八年の實驗 最新學術の應用

齒科醫 勳六等

京城南山町三丁目

楢崎東陽

(日本人俱樂部向)

和洋御料理

並に かきかまめし

外に洋食、すし 一皿ニ付金十五錢

京城本町五丁目 釘本商店前入

やまづあ

〇開店御披露〇

〇惣菜御料理〇

〇べんとう〇

〇茶めし〇

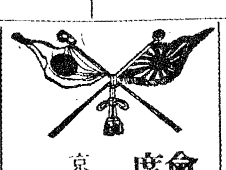
其外御好に應じ仕出し可仕候 通人樣方御待兼ねの御料理愈々相始め申候に付續々御來駕御玩味奉願候

京城南山町四丁目

魚芳内

甲子

(電話四二八)



會席御料理

並に仕出し

京城本町二丁目

曙亭

會席御料理

並に仕出し

西小門内

横濱亭

日本法律學士 岩本英夫法律事務所

京城本町一丁目八十四番戸 (電話八四二番)

仁川港新町一丁目九十七番地 (電話五二七番)

謹告

エジプト貢及マニラ葉巻其他煙草類各種

西洋雜貨洋酒洋菓子並に支那糖菓及紅茶

在韓清國人

大連、安徽

湖北、江南 彩票發賣

●但彩票者毎月一回抽籤●

京城水標橋二宮街

各國雜貨商 源源號

西洋御料理宴會

日本人俱樂部

京城南山町三丁目電話(一二三番)

金口土耳其煙草大賣出し

四月一日より同十五日迄

駐劄軍交代兵士入京を祝せんが爲め四月一日より同十五日まで品質佳良香氣馥郁たる金口眞正土耳其煙草特別原價大賣出し致候間どし〳〵御來駕御試煙の上御買上げ被下度此段願上候敬具

但御試煙の烟草代は頂戴不仕候

京城本町一丁目

トルコ煙草日希商會

韓國京城

株式會社 第一銀行

電話番號 (營業用) 一一番 (當直用) 一二番 (營業用) 三二番

國庫用 六二番 度支部用 … 分析所用 六一二番

本店 東京市日本橋區兜町

內地支店、出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東京新大阪町

韓國支店、出張所 仁川、釜山、元山、鎭南浦、群山、平壤、木浦、大邱、開城、咸興、城津、馬山、鏡城

清國安東縣

右の外內外各地重要なる場所に爲替取引先あり

營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

梅毒痳病

內科 外科

入院隨意

京城南大門外

戸田病院

易斷觀相鑑定及教授

黃文閣

本町六丁目

京城 電話讓物あり

御望の方は旭町一丁目三河屋迄御來談ありたし

(電話一一八番)

日本郵船株式會社

仁川 瀛船出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 郡回漕會

電話三九番

京城南大門通 巴商店

電話三〇六番

電話十番

行先	船名	出帆日	時刻
●釜山長崎門司神戸行	山東丸	四月十二日	後三時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行	第一オハヨ號	四月十二日	後四時出
	劔路丸	月　日	後三時出
●大連、大沽、牛莊行	高砂丸	四月十日	後一時出
	山東丸	四月廿三日	前十時出
●大連、大沽、牛莊行	酒田丸	四月廿三日	後一時出
●鎭南浦行	第一オハヨ號	四月九日	後三時出
●釜山出帆、元山浦鹽行	弘前丸	四月廿三日	

注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事